

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年2月23日(2006.2.23)

【公開番号】特開2000-166599(P2000-166599A)

【公開日】平成12年6月20日(2000.6.20)

【出願番号】特願平10-353254

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/68 A

G 0 1 N 33/50 Z N A P

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月7日(2005.12.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 生物学的試料中に存在する標的核酸分子を定量的に分析する方法において、
 標的核酸分子の離れた2つの塩基配列領域に対してそれぞれ相補的である塩基配列を有する第1および第2のプライマ分子を含む核酸の増幅工程、ここで、少なくとも一方のプライマは追跡可能な標識分子で標識されており、少なくとも標識されたプライマの数は既知である、
 少なくとも1回の増幅工程を実行した検液の少なくとも一部を用いて、標識分子に関する測定データを得る測定工程、
 上記測定データに基づいて標的核酸分子の分子数あるいは分子サイズを決定する決定工程、
 とを有することを特徴とする標的核酸の定量分析方法。